



# ひょうごの農林水産技術

農業編

NO.170 2010 (平成22年) .8

特集 | 環境創造型農業を支える技術開発



植物病害虫防除装置の設置  
(タフナレイ)



DNAチップを使った遺伝子  
による病害診断



人工的に雨を降らせ、流れ出た水に含まれる肥料成分  
を測定できる施設でのキャベツ減肥試験の実施



土着天敵の利用

## 目次

### 特集 環境創造型農業を支える技術開発

- 1 環境創造型農業推進のための技術開発…………… 2
- 2 ひょうご安心ブランドを支える残留農薬分析…………… 2
- 3 冬作キャベツは緩効性化成肥料の局所施用で2割減肥可能…………… 3
- 4 植物を丈夫にして病気を防ぐ、光による病害防除技術…………… 4
- 5 黄色灯を設置するとハサミムシ類などの天敵が増加…………… 5
- 6 複数の細菌性病害を一度に遺伝子診断 しかも簡易、迅速… 6
- 7 アブラナ科作物を栽培するとレタスピックペイン病の発生が減少…………… 7

### 研究成果の紹介

- 1 レタス収穫後のマルチ・トンネルを利用した寒玉系キャベツの4、5月どり栽培…………… 8
- 2 小麦「ふくほのか」の製めん加工適性を高める施肥法 …… 9
- 3 べと病が多発生したタマネギは貯蔵性が悪化…………… 10
- 4 酒粕は乳牛飼料の蛋白源として利用可能…………… 11

### 現地情報

- いちじくで一億円の産地づくり ～淡路の取り組み～ …… 12